

1. 旧約聖書に、ダニエルさんという人が出てきます。ダニエルさんはイエス様の時代よりも だいたい600年くらい前の人です。  
イスラエルの国がバビロンやペルシャという国々に支配されていた、そんな時代の人です。
2. ダニエルさんは聖書の神様を信じて、そして王様に仕える立派な人でした。王様はまことの神様を信じる人ではなかったのですが、ダニエルさんが一生懸命に王様に仕えて、素晴らしい働きをする人でしたので、心から信頼し、ダニエルさんのことを大切にしていました。
3. しかし、誰もがダニエルさんのことを大切に思っていたわけではありません。ダニエルさんのことをうらやましく思い、ねたみ、憎んでいた人たちもいたのです。
4. そして何とダニエルさんは、その悪い思いを持つ人たちによって、ライオンがお腹をすかして待っている洞窟に投げ込まれてしまったのです！
5. ところが不思議なことにダニエルさんは、傷ひとつ負うことなく、恐ろしいライオンの洞窟から戻ってくる事が出来たのです。ダニエルさんのことを心配していた王様は、涙を流して喜びました。

さてここで問題です。なぜダニエルさんは、無事に生きて戻ってくる事が出来たのでしょうか？

6. ①「実はライオンではなく猫だった」
7. ②「実はダニエルさんはサーカスの猛獣使いだった」
8. ③「神様が守ってくださった」
9. はい、答えはどれでしょう？ ①実は猫だった ②猛獣使いなので飼いならした ③神様の守りがあった
10. そうですね、③ですね。お腹をすかしたライオンが今にも飛びかかろうとする洞窟の中は、どんなに恐ろしいところだったことでしょう。でもダニエルさんには神様がおられました。こんなにピンチの中であっても、神様が共にいて守ってくださったのです。

11. 「彼は、いつものように、日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。」ダニエル 6:10

ダニエルさんは、いつも神様に祈る人でした。神様を信頼し、神様に祈り、神様に導かれて生きる人だったのです。だからこんなピンチがやってきても、ダニエルさんは立ち向かう事が出来たのです。

神様にお祈りすることが出来る人は幸いです。普段からお祈りしている人は、いざという時に力が与えられますよ。だから私たちも、いつも主に向かって祈る者となりましょう。

おしまい。